

2020年5月18日

学生・保護者の皆さんへ

新年度授業開始 ～決して「学び」は止めない～

徳山工業高等専門学校長
勇 秀憲

新型コロナウイルス感染症が世界中で、日本でそして山口で猛威を振るい、その感染拡大防止に向け日本全国で発せられた緊急事態宣言も、先日大都市圏を中心とした一部の地域を除き解除されましたが、まだまだ予断を許さない状況が続いています。一人ひとりが毎日の行動を変え、行動を強く自粛していくことが、自分のため周りの人のため皆のために必要です。本校は新年度4月から5月11日までは休校とし、先週の最終準備週間を経て今日5月18日よりICTを活用した遠隔授業の全面的導入のもと、新学期の授業を開始しました。

将来活躍する不明瞭な社会（少子化、高齢化、人口減少、技術革新、グローバル化など）を高い志、意欲、夢や希望を持って生き抜き、周囲の多様な人々と協働し新しい価値を創造できる技術者となるように学生たちを育成していくことが、この状況においても高等教育に求められています。学生たちが自ら進んで「学ぶ」ことのできる環境を、今まで以上に私たちは提供し保証します。

さて、今日からの遠隔授業には、一般には①リアルタイム型と②オンデマンド型のものがあります。①リアルタイム型遠隔授業は、先生と学生が映像や音声などで同時に双方向のやりとりをするテレビ会議方式で、対面授業に近い形で実施します。また、②オンデマンド型遠隔授業は、先生が事前に収録・作成した映像や準備した教材などを、学生が都合のつく適当な時刻に視聴して授業となるものです。いずれの遠隔授業でも、学生と先生が教室などで実際に向き合っていないので、これまでの対面授業とは違った授業内容、方法や手順などで多くの工夫が必要となるでしょう。各授業で設定された到達目標に向かう達成度をしっかりと保証できるように、その授業内で課題・レポートなどを通して、学生と先生の間での双方向の意見交換が今まで以上に重要になります。成績評価についても、これまでの対面授業と同じように、例えば「何をどこまで説明できるのか、計算できるのか、記述できるのか、……」など到達目標に対する到達度を具体的で可視化された方法でさらにしっかりと測らなければなりません。全ての授業を遠隔授業で行うことは、本校においてももちろん初めてであり、この3月から5月の先週末まで、その準備を滞りなく進めてきました。皆さんと先生が今まで以上に授業を協働することで、新しい形のより良い「学び」が作り上げられるに違いありません。

決して「学び」を止まりませんし、止めてはなりません。

本校が他高専を先導してこれまで取り組んできたいろいろな教育改革の実質化が今まさに求められています。皆さんと教職員が一体となり、しっかりと未来を見据えて、現在の状況乗り越え進むことが、今後の新しい日常における今まで以上に活発で楽しく学ぶことのできる徳山高専に繋がっていくと信じています。

さあ、新しい形の徳山高専の学校生活をみんなで始めましょう。